

平成 21 年度科学研究費補助金
「基盤研究 B 〈海外学術調査〉」

—— 研究課題：

アメリカ収蔵「書跡」の基礎データ収集と整理のための調査研究

河 内 利 治 (君 平) 安 達 直 哉

平成21年度科学研究費補助金 「基盤研究B〈海外学術調査〉」研究報告

——研究課題：

アメリカ収蔵「書跡」の基礎データ収集と整理
のための調査研究

An Investigation on the Collection of Chinese and Japanese Calligraphy Works
in U.S. Museum at 2009, by the Japan Society for the Promotion of Science
Scholarship

研究代表者 河内 利治

研究分担者 安達 直哉

——Toshiharu Kawachi & Naoya Adachi

1. はじめに

独立行政法人日本学術振興会より交付された平成20年度科学研究費補助金「基盤研究B〈海外学術調査〉」により、「研究課題：アメリカ収蔵「書跡」の基礎データ収集と整理のための調査研究（課題番号20401014、以下〈アメリカ収蔵書跡〉と略す）」の研究を開始した。研究代表者は河内利治、研究分担者は安達直哉、研究期間は平成20年度から平成24年度まで5年間の予定である。本稿はその平成21年度分の調査研究の一部である。

2. 平成21年度の計画立案

上記研究を遂行するために立案した平成21年度の計画は次の通りである。

《アメリカの博物館・美術館等収蔵「書跡」の基礎的データ収集の継続》

「中国書跡」の基礎的調査は、平成20年度の計画を継続する。前年度と同様に書跡関連の書籍を探しながら、図版（題籤・序跋等を含む）を精査し、基礎データ台帳を作成する。

「日本書跡」の基礎的調査は、平成20年度の計画を継続する。前年度と同様に書跡関連の書

籍を探しながら、図版（題籤・序跋等を含む）を精査し、基礎データ台帳を作成する。

上記の基礎データ台帳を作成しながら、実際に渡米し、各博物館・美術館等を回り、海外学術調査を行う。同時に中国・台湾の研究者と意見交換するため訪中・訪台する。研究協力者として、以下の海外研究者から情報提供を得、大学院生にデータ作成の協力を得る。

ハーバード大学人文学部美術史学科：ユキオ・リビット准教授、「日本書跡」の情報提供
ワシントンDC／フリーア・ギャラリー：張子寧准研究員、「中国書跡」の情報提供
文学研究科書道学専攻博士前期課程：高田智仁、「日本書跡」基礎データ台帳作成
文学研究科書道学専攻博士前期課程：猪又遥香、「中国書跡」基礎データ台帳作成
文学研究科書道学専攻博士前期課程：亀澤孝幸、英語翻訳と基礎データ台帳作成

3. 平成21年度の計画遂行

遂行した平成21年度の計画は次の通りである。

- ①学内科研会議
- ②アメリカ調査機関と調査書跡
- ③調査補足
- ④図書の購入について
- ⑤基礎データ台帳の作成

① 学内科研会議

合計9回、学内メンバーで打ち合わせを行った。日時は次の通りである（予定を含む）。

- (1)平成21年4月7日（火）「第1回〈アメリカ収蔵書跡〉科研会議」
- (2)平成21年5月25日（月）「第2回〈アメリカ収蔵書跡〉科研会議」
- (3)平成21年6月29日（月）「第3回〈アメリカ収蔵書跡〉科研会議」
- (4)平成21年7月21日（火）「第4回〈アメリカ収蔵書跡〉科研会議」
- (5)平成21年9月29日（火）「第5回〈アメリカ収蔵書跡〉科研会議」
- (6)平成21年10月26日（火）「第6回〈アメリカ収蔵書跡〉科研会議」
- (7)平成21年12月1日（火）「第7回〈アメリカ収蔵書跡〉科研会議」
- (8)平成22年1月27日（水）「第8回〈アメリカ収蔵書跡〉科研会議」
- (9)平成22年3月11日（木）「第9回〈アメリカ収蔵書跡〉科研会議」予定

以下、各回の科研会議における議事録である。

(1) 4月7日(火)「第1回〈アメリカ収蔵書跡〉科研会議」

時間：16：15—17：00 場所：安達研究室 出席者：河内・安達・高田・猪又

1、ワシントンDC／フリーア・ギャラリー調査報告

平成21年3月22日(日)～29日(日)、ジョセフ・チャン(キュレーター)、ジョン・ワン(ボランティア)、スーザン(コレクション・マネージャー)にお世話になり、特にスーザンが日本書跡および中国書跡のデータをバックアップしてくださり、日本書跡20点を調査できた。以上を報告。

2、今夏の調査計画

フリーアのスーザンがすでに8月25日(火)～28日(金)を予定に組んでくれているので、まずはフリーアを再度調査することを決める。

(2) 5月25日(月)「第2回〈アメリカ収蔵書跡〉科研会議」

時間：17：20—18：00 場所：書道学科研究スペース

参加：河内、安達、高田、猪又、亀澤(以下同じ)

1、今年度の研究計画についての方針の確認

2、今夏の渡米計画予定について

① 8月2日(日)～9日(日)：河内／安達

シアトル美術館(SAAM)：8月3日(月)「日本書跡」

ボストン美術館(MFA)：8月5日(水)・6日(木)「日本書跡」

② 8月24日(月)～29日(土)：河内／亀澤

ワシントンDC／フリーア・ギャラリー：8月25日(火)・26日(水)「中国書跡」

・ 郭沫若国際会議(IGMA)：8月27日(木)

3、シアトル美術館調査予定の3点が、サントリー美術館で7月25日から展示予定の為、調査させていただけるよう交渉にはいることを検討する。

4、新型インフルエンザの動向を見守りながら、渡米するかどうかの判断を下す状況にあることを確認する。

(3) 6月29日(月)「第3回〈アメリカ収蔵書跡〉科研会議」

時間：15：00—16：00 場所：安達研究室

1、シアトル美術館調査予定の3点について

サントリー美術館(六本木)への展示貸し出しのため現地での調査不可。したがって、9

月上旬（8～10日）にサントリー美術館にて調査可能か確認する（安達）。

（4）7月21日（火）「第4回〈アメリカ収蔵書跡〉科研会議」

時間：午後6：30—7：15 場所：安達研究室

1、今夏のアメリカ調査について

①8月2日（日）～9日（日） 出張者：河内／安達

8月3日シアトル美術館／8月5日・6日ボストン美術館

②8月24日～29日（土） 出張者：河内／亀澤

8月25・26日ワシントンDC／フリーア・ギャラリー

8月27日「郭沫若国際会議（IGMA）」（河内・招聘発表）

2、上記1美術館調査データの準備（高田）

3、上記1美術館調書用台帳の準備（安達）

4、次回会議に調査結果を報告する。

（5）9月29日（火）「第5回〈アメリカ収蔵書跡〉科研会議」

時間：午後6：40—7：20 場所：安達研究室

1、今夏のアメリカ調査についての報告

①8月2日（日）～9日（日） 出張者：河内／安達

8月3日シアトル美術館：日本書跡11点（別の3点をサントリー美術館で見学）

8月5日・6日ボストン美術館：二日で日本書跡15点

②8月24日～29日（土） 出張者：河内／亀澤

8月25・26日ワシントンDC／フリーア・ギャラリー：二日で中国書跡14点

2、次年度以降の研究協力者3名の追加を検討する

3、上記調査データの整理（高田）

（6）10月26日（火）「第6回〈アメリカ収蔵書跡〉科研会議」

時間：午後6：00—6：40 場所：安達研究室

1、ウィラメット大学Hallie Ford Museum of Artについての報告（河内）

10月7日（水）DirectorのJohn Olbrantzに逢い、CuratorのJonathan Bucci氏を紹介され、コレクションデータ情報を教わり、Ideas ProjectコレクションがWeb上で公開されていることを教えていただく。この件につき意見交換する。

2、上記Hallie Ford Museum of Art調査データの確認

今夏アメリカ調査のデータ入力を年内に終えることの確認（高田・亀澤）

3、次年度以降の研究協力者3名の追加のうち2名の快諾を得る。（河内）

4、本年度予算執行状況の確認（安達）

5、科研費購入図書の確認（全員）

（7）12月1日（火）「第7回〈アメリカ収蔵書跡〉科研会議」

時間：午後6：30—7：00 場所：安達研究室

1、科研費執行状況の確認

「平成21年度科学研究費補助金間接経費に係る説明会」（11月17日）資料に基づき、不正使用防止を確認し、現在の科研費執行状況から物品費、謝金、間接経費の執行を遅くとも1月中に執行することで合意する。

2、本年度の調査リストの作成について

高田・亀澤は本年度の調査データ入力を年内に終え、河内・安達に提出する。なお本年度分に、平成21年3月フリーア・ギャラリー調査データを忘れずに加える。

3、本年度の報告書作成について

1月中に安達作成の文書を受け、昨年度同様に河内がまとめて作成する。

4、「アメリカ書跡関連蔵書目録」作成について

08—09科研費購入図書ならびに河内研究室蔵の「アメリカ書跡関連蔵書目録」を作成する（猪又担当）。

（8）平成22年1月27日（水）「第8回〈アメリカ収蔵書跡〉科研会議」

時間：18：20—18：40 場所：書道学科事務室

1、「大東書道研究17」掲載原稿の確認

2、予算執行情況の確認

3、次年度の渡米計画について

4、「第9回〈アメリカ収蔵書跡〉科研会議」3月11日（木）予定

（9）平成22年3月11日（木）「第9回〈アメリカ収蔵書跡〉科研会議」

1、次年度の渡米計画について

2、次年度の会議予定について

②アメリカ調査機関と調査書跡

アメリカにおける調査機関、月日、調査点数、調査者を順に示すと次の通りである（作年度末分を含む）。

(1) ワシントンDC／フリーア・ギャラリー：3月23日（月）～3月27日（金）

「日本書跡」20点調査（河内・安達・高田）

(2) シアトル美術館（SAAM）：8月3日（月）

「日本書跡」11点調査（河内・安達）

(3) ボストン美術館（MFA）：8月5日（水）・6日（木）

「日本書跡」15点調査（河内・安達・倉橋）

(4) ワシントンDC／フリーア・ギャラリー：8月25日（火）・26日（水）

「中国書跡」13点調査（河内・亀澤）

③調査補足

(1) シアトル美術館調査未見の3件を実見した。「シアトル美術館所蔵 日本・東洋美術名品展」が六本木ミッドタウンのサントリー美術館で開催され、8月3日（月）シアトルアジア美術館（SAAM）で調査できなかった「地獄草紙断簡」、「石山切」、「鹿下絵和歌巻」を実見した（河内は9月1日参観、安達は7月31日に参観）。偶然、東京国立博物館本館で「地獄草紙」を鑑賞した直後だけに、断簡とはいえ二日続けて「地獄絵」を見ることができた。なおカタログ『シアトル美術館所蔵 日本・東洋美術名品展』に収録される、白原由起子氏「シアトル美術館 東洋美術コレクションの歴史」という一文は、リチャード・フラー氏やシャーマン・リー氏によって東洋美術の名品が収集されて来た経緯などを詳細に論述している。

(2) ウィラメット大学ハリエ・フォード美術館を視察し、Jonathan Bucci氏（キュレーター）からコレクションデータ情報を教わり、Ideas ProjectコレクションをWeb上で確認する（<http://www.ideasproject.org/collections/asianetwork/index.html>）。本科研報告の際に参考し得る情報公開方法である。ハリエ・フォード美術館は「ASIA Network's Luce Asian Art in Undergraduate Curriculum Project website」にリンクしており、かつ上記Ideas Projectに60点のコレクションを公開している。

(3) ボストン郊外のセーラムにあるピーボディ・エセックス美術館（PEM）の元キュレーターの岡みどりさんから、日中の書跡を収蔵すると思われるアメリカ国内の美術館・個人リストを頂戴したので、ここに記録しておきたい。

MFA, Boston / Metropolitan / Freer / Harvard Sackler / Worcester Art Museum /
Yale University Art Museum / Brooklyn Art Museum / Chicago Art Institute /
RISD Museum / Princeton University Art Museum / Cleveland Museum of Art /
Kansas City Art Institute / Spencer Museum of Art, University of Kansas /
Indianapolis Museum of Art / Birmingham Museum at the University of Alabama /
New Orleans Museum of Art / San Antonio Museum of Art / Seattle Art Museum /
Portland Art Museum / Asian Art Museum of San Francisco / Stanford /
University of Berkeley Art Museum / Los Angeles County Art Museum /
Santa Barbara Art Museum / San Diego Art Museum /
Sylvan Barnet and Bill Burto (Cambridge, MA, Harvard) /
Dr. Stephen Addiss (Richmond, VA) /
Mr. Willard (Bill) Clark (Hanford, CA, Addiss) / Dr. Kurt Gitter (New Orleans)

④図書の購入について

中国から「USB拇指数庫」を購入し、本年度の主たる図書費に充当することにした。その書籍は次の通りである。「歴代書論」「歴代画論」「歴代文論」「金石録」「金石萃編及補正」「古篆刻書」の6点である。

⑤基礎データ台帳の作成

画像を取り込んだ、ファイルメーカー作成の基礎台帳に入力を継続して行った。以下にエクセルに変換した書跡を提示する（作昨年度末3月分を含む）。

【凡例】

- (1)表記順序は、①NO、②分類番号、③時代、④筆者、⑤作品名、⑥員数、⑦形状、⑧品質、⑨本紙法量の順とした。
- (2)NO欄の「F082-J001」について、Fはフリーア・ギャラリー、08は2008年度、2は年度内第2回調査、Jは日本書跡を示す。他にSEはシアトル美術館（SAAM）、Mはボストン美術館、Sはサクラ、Cは中国書跡を表わし、さらに枝番号が付くこともある
- (3)分類番号は、各所蔵機関の番号をそのまま転記した。
- (4)時代については、書写年月がわかるもの、あるいは書写の世紀がわかるものは時代表記の後に記した。

(5)作品名は各所蔵者の付した名称によったが、一部変更したものもある。

(6)本紙の法量は縦×横とし、cmを省略した。また第1紙のみ計測した場合は①23.7*52.5のように記した。

(7)筆者名や作品名には原則として常用漢字を用いた。

(8)ペア（上下・対幅など）またはセット（組）は1点として数える（網掛け書跡）。

(1)ワシントンDC／フリーア・ギャラリー：「日本書跡」20点＋「中国書跡〔写真のみ〕」

昨年に続いてフリーア・ギャラリーで調査した日本書跡は20点である。そのうちいわゆる書跡に分類されるものは6点で、時代別では平安時代1点、鎌倉時代1点、江戸時代4点となる。もっとも古いのは「石山切」で、切り継ぎや破れ継ぎの趣向を凝らした華麗な料紙を用いているのが目を引いたものと思われる。「石山切」は欧米の美術館に相当数所蔵されていることが予想され、今後の検討課題となろう。鎌倉時代のものでは、「春日懷紙」が注目されるが、僧実印が里梅を題材にして二首の和歌を詠んだものである。紙背に「仁王護国経般若波羅密経疏」が記されている。江戸時代のものでは、やはり寛永の三筆の書の人気が高い。本阿弥光悦のものは、四季草花下絵の料紙に『新古今集』の和歌を抜き書きした屏風1双、および三十六歌仙の和歌を下絵のある料紙に一人1紙ずつに書いた折本がある。近衛信尹のものは、色紙が6枚貼付された屏風である。他に近年所蔵となった梁川星巖の書の屏風1双がある①。

絵画作品に墨書がみられるものの中では、鎌倉時代制作の絵巻「地藏菩薩霊驗記」がもっとも注目された。その詞書は、当時の高僧である慈鎮の筆とする箱書があるが、事実か否か今後検討したい。ほかに「弘法大師行状絵伝」や「融通念仏縁起」の詞書を調査した。さらに狩野探幽の3幅1対の掛幅や酒井抱一の達磨図に記した賛は、いずれも自筆とみられる。

このほかに表装のあり方に興味深いものがみられた。すなわち、普通の掛幅を額装に改めたもので、風帯を下の裂に貼り付けほぼ平面にした後額に入れるのである。確かに風帯の扱いは面倒であるかもしれないので、このような方法がとられたのであろう。1972年に館に入った書跡に施されているから、最近の修理によることがわかる。今後欧米の美術館における類例を集めていきたい。

これらの書跡は、第二次世界大戦前では1902年から11年の間に、戦後は1958年から98年までの間に館に入ったことがわかる。

NO	分類番号	時代	筆者	作品名	員数	形状	品質	法量
F082-J001	F1904.187	江戸 (文化6・1809)	葛飾北斎	飛翔する郭公	1 幅	掛幅装	紙本着色	17.6*50.3
F082-J002-1	F1904.370	江戸 (寛文5・1665)	狩野探幽	三夕の和歌情景図	1 幅	掛幅装	絹本淡彩	30.5*44.9
F082-J002-2	F1904.371	江戸 (寛文5・1665)	狩野探幽	三夕の和歌情景図	1 幅	掛幅装	絹本淡彩	30.5*45.0
F082-J002-3	F1904.372	江戸 (寛文5・1665)	狩野探幽	三夕の和歌情景図	1 幅	掛幅装	絹本淡彩	30.4*44.9
F082-J003	F1962.2	鎌倉(14c)		過去現在因果経断簡	1 幅	掛幅装	紙本着色	26.8*75.2
F082-J004	F1972.6	鎌倉(14c)		遊女物語	1 面	額装	紙本墨書	16.4*42.7
F082-J005	F1984.35	鎌倉 (寛元1・1243)	實印	春日懷紙	1 幅	掛幅装	紙本墨書	29.5*43.0
F082-J006	F1998.296	江戸(19c)	酒井抱一	初祖達磨大師画賛	1 幅	掛幅装	絹本淡彩	127.1*57.7
F082-J007	F1969.4	平安(12c)		石山切	1 幅	掛幅装	彩箋墨書	20.1*16.0
F082-J008	F1961.8	室町		うたた寝物語	1 巻	卷子装	紙本墨書	②14.2*45.6
F082-J009	F1907.375a	鎌倉(13c)		地藏菩薩雪映記	1 巻	卷子装	紙本着色	②30.2*52.0
F082-J010	F1911.318	江戸(18c)	尾形乾山	花籠図	1 面	扇子	彩箋墨書	32.3*50.5
F082-J011	F1981.16	安土桃山～江戸	近衛信尹	色紙屏風	4 曲1 隻	屏風	彩箋墨書	①21.0*17.8
F082-J012	F1975.20a-ji	江戸(17c)	本阿弥光悦	三十六歌仙帖	1 帖	折本装	彩箋墨書	12.1*10.8
F082-J013-1	F1902.195	江戸(17c)	本阿弥光悦	和歌色紙屏風	6 曲1 双	屏風	彩箋墨書	19.6*17.3
F082-J013-2	F1902.196	江戸(17c)	本阿弥光悦	和歌色紙屏風	6 曲1 双	屏風	彩箋墨書	
F082-J014	F1966.9	鎌倉(13c)		弘法大師行状絵伝	1 巻	卷子装	紙本着色	①32.6*53.1
F082-J015	F1904.390	江戸 (寛文10・1670)	狩野探幽	近江八景図	1 巻	卷子装	絹本着色	②27.6*75.7
F082-J016-1	F1995.19.1	江戸(19c)	梁川星巖	七言絶句	6 曲1 双	屏風	紙本墨書	127.5*49.9
F082-J016-2	F1995.19.2	江戸(19c)	梁川星巖	七言絶句	6 曲1 双	屏風	紙本墨書	
F082-J017	F1966.18	江戸(17c)		鶴草子	1 巻	卷子装	紙本着色	①15.6*67.8
F082-J018	F1906.4	南北朝(14c)		建保職人歌合	1 巻	卷子装	紙本着色	②32.7*50.3
F082-J019-1	F1958.11	鎌倉 (元徳1・1329)	俊直	融通念仏縁起	2 巻	卷子装	紙本着色	②29.3*38.6
F082-J019-2	F1959.13	鎌倉 (元徳1・1329)	俊直	融通念仏縁起	2 巻	卷子装	紙本着色	①29.3*39.5
F082-J020-1	F1987.9	江戸(17c)		玉ものまへ 上	2 巻	卷子装	紙本着色	①32.8*99.8
F082-J020-2	F1987.10	江戸(17c)		玉ものまへ 下	2 巻	卷子装	紙本着色	①32.7*99.2
F082-c001-1		南宋		南宋拓淳化閣帖	1 冊	折本装	紙本	写真撮影のみ
F082-c001-2		南宋		南宋拓淳化閣帖	1 冊	折本装	紙本	写真撮影のみ

(2) シアトル美術館 (SAAM) : 「日本書跡」 11点

シアトル美術館では日本書跡11点を調査したが、そのうちいわゆる書跡は3点で、平安時代の法華経1巻、江戸時代の木庵の一行書と貫名菴翁の三行書である。「妙法蓮華経巻第五」は紺紙に金字で書かれた經典で、表紙は宝相蓮華文、見返に金泥絵のあるものである。これが戦後すぐに館藏品となったのに対して、木庵の一行書と貫名菴翁の三行書は2001年に所蔵となったものである。

絵巻では鎌倉時代の「法然上人行状絵図」の断簡がみられ、その詞書は付属品の文章によれば藤原為家の筆とするが確証はない。また「驢馬に乗る杜甫図」には、「天正三年八月九日

生山書之（花押）」という奥書があり、外箱の表書には「義持 杜子美/義昭賛」とみえ、絵は足利義持、賛は足利義昭の手になるとする。しかしながら、足利義昭は昌山という法名をもつのは知られるが、「生山」と称したか否かは今後検討したい。

江戸時代のものとしては白隠や仙厓の絵と賛両方があるもの、極札に烏丸光賢卿筆とある源氏物語絵巻を調査した。

NO	分類番号	時代	筆者	作品名	員数	形状	品質	法量
SE091-J001	Sc83.220	江戸	雲谷等顔	達磨図	1 幅	掛幅装	紙本墨書	93.0*42.3
SE091-J002	48.171	平安(12c)		妙法蓮華経巻第五	1 巻	卷子装	紺紙金字	②24.8*49.8
SE091-J003	48.175	鎌倉		法然上人行状絵図	1 幅	掛幅装	紙本着色	31.6*39.0
SE091-J004	50.120	室町		雪舟風山水画	1 面	額装	紙本墨書	77.4*27.4
SE091-J005-1	52.40.1	江戸(17c)		源氏物語絵巻	5 巻	卷子装	紙本着色	①26.8*48.2
SE091-J005-2	52.40.2	江戸(17c)		源氏物語絵巻	5 巻	卷子装	紙本着色	
SE091-J005-3	52.40.3	江戸(17c)		源氏物語絵巻	5 巻	卷子装	紙本着色	
SE091-J005-4	52.40.4	江戸(17c)		源氏物語絵巻	5 巻	卷子装	紙本着色	
SE091-J005-5	52.40.5	江戸(17c)		源氏物語絵巻	5 巻	卷子装	紙本着色	
SE091-J006	53.82	室町(15c)		驢馬に乗る杜甫図	1 幅	掛幅装	紙本墨書	101.0*32.6
SE091-J007	55.151	江戸	仙厓	亀と寿老人図	1 幅	掛幅装	絹本墨書	40.6*50.3
SE091-J008	55.152	江戸 (文政6・1823)	仙厓	観音図と経	1 幅	掛幅装	絹本墨書	90.9*39.0
SE091-J009	63.150	江戸(18c)	白隠	達磨図	1 幅	掛幅装	紙本墨書	116.9*54.2
SE091-J010	2001.16	江戸(17c)	木庵	一行書	1 幅	掛幅装	紙本墨書	130.0*37.2
SE091-J011	2001.23	江戸(19c)	實名菰翁	行書三行書	1 幅	掛幅装	絹本墨書	137.5*55.8

(3) ボストン美術館 (MFA) : 「日本書跡」 15点

昨年に引き続きボストン美術館では日本書跡15点を調査したが、そのうち書跡は6点であった。もっとも注目されるのは平安時代の写経3巻である。「大虚空蔵菩薩念誦法」は宝相華文の表紙で、見返しには金銀泥絵がみられ、本文は紺紙に金字で書かれ、さらに神護寺の印が捺されている。現在京都神護寺にある一切経のつれであったことが示されている。ほかの「大般若経巻五百三十八」と「弘明集巻第十八」も紺紙に金銀字で書かれた装飾経である。いずれも1910年前後に館に入ったものである。一方戦後に館藏品となったものとして、鎌倉時代の「後鳥羽院歌仙色紙」、室町時代の禅僧である策彦周良の墨蹟、および江戸時代の光悦風の「色紙」が遺されている。

絵巻では、わが国に残存している平安時代の絵巻として有名な「地獄草子」の断簡が注目される。その詞書は、筆者は不明であるが和様の筆致が認められる。

「文殊図」の賛は中峰明本の筆跡に間違いなく貴重な研究材料となろう。室町時代の「山水図」2幅にも賛があり、明応9年(1500)に禅僧天隠龍澤が書いたものと宗甫等7人の賛がみられるものがある。さらに如雪が画いた「林和靖図」の賛も平仲老雪中衡と亀山周暉の自

筆である。

以上の書跡はいずれも1910年代に館に入ったもので、やはりこの時期が日本書跡の館への受け入れにとって重要であったことがわかる。

1974年に館蔵品となった「枯れ木に鳩図」は、箱書によれば鳩は松花堂の筆になり、賛が林道春（羅山）の自筆とされている。両者の印も捺されており、その可能性は高いが、引き続き検討したい。

NO	分類番号	時代	筆者	作品名	員数	形状	品質	法量
M091-J001	11.6230	平安～鎌倉(12c)		諸尊図像集	1巻	卷子装	紙本墨書	29.2*938.3
M091-J002	17.1368	平安(12c)		大虚空蔵菩薩念誦法	1巻	卷子装	紺紙金字	②25.8*54.0
M091-J003	19.687	平安(12c)		大般若経卷五百三十八	1巻	卷子装	紺紙金銀字	②25.7*47.6
M091-J004	11.6254	平安(12c)		地獄草子断簡	1巻	卷子装	紙本着色	25.7*52.0
M091-J005	11.6237	鎌倉(13c)		弥勒如来図	1面	額装	紙本淡彩	92.2*79.5
M091-J006	11.6187	南北朝(14c)		春日鹿曼荼羅図	1面	額装	絹本着色	119.4*41.3
M091-J007	09.310	平安(12c)		広弘明集卷第十八	1巻	卷子装	紺紙金銀字	26.2*830.3
M091-J008	17.782		賛：中峰明本	文殊図	1幅	掛幅装	絹本墨書	98.9*31.6
M091-J009	11.6331	室町(明応9・1500)	賛：天隠龍澤	山水図	1幅	掛幅装	紙本淡彩	94.1*22.4
M091-J010	54.1060	鎌倉(14c)		後鳥羽院歌仙色紙	1幅	掛幅装	紙本淡彩	14.9*14.6
M091-J011	11.4145	室町(16c)	賛：平仲老雪中衛 賛：龜山周暉 画：如雪	林和靖図	1幅	掛幅装	紙本淡彩	76.2*37.1
M091-J012	50.1485	江戸(17c)	賛：宗甫ほか	色紙	1幅	掛幅装	彩箋墨書	18.2*16.0
M091-J013	11.6880	室町(16c)		山水図	1幅	掛幅装	彩箋墨書	50.5*23.4
M091-J014	1972.953	室町(16c)	策彦周良	策彦周良墨蹟	1幅	掛幅装	紙本墨書	30.8*46.4
M091-J015	1974.137	江戸		枯れ木に鳩図	1幅	掛幅装	紙本墨書	28.9*60.0

(4)ワシントンDC／フリーア・ギャラリー：「中国書跡」13点

フリーア所蔵「中国書跡」の調査は、昨夏5点と今夏13点を併せて18点を数えることになった。今春、スーザンさんにフリーアのデータベースからパッキングしていただいた「オブジェクト・ファイル：kawachi」の中国書跡は498点あり、その中から今夏は13点を計測し撮影した。但しうち1点は名高い宋拓『淳化閣帖』で、第二冊は展示中のため、第六冊以降は時間の関係で実見できなかった。次回以降に計測し撮影しなければならない。なおStephen D. Allee氏から「Song-Yuan Final Database Worksheet F1980.202」2008.2.7を頂戴した。このペーパーは宋拓『淳化閣帖』についての詳細な考証である。ここに記して謝意を表したい。もう1点『元十二家竹簫詩銘 (Bamboo Flute Inscriptions, Yuan Dynasty, 1361)』は、サックラ・ギャラリー所蔵のものである。オブジェクト・ファイルには「S1989.9」としか記されておらず、実見して驚いた。元代書道史を彷彿する書跡であることを特記しておきたい。

NO	分類番号	時代	筆者	作品名	員数	形状	品質	法量
F091-C001	F1945.41	明(15c中後期)	陳献章	草書七絶二句	1 幅	額装	紙本墨書	183.2*91.4
F091-C002	F1980.2	明(1528-29頃)	王寵	荷花塘六絶句	1 卷	卷子装	紙本墨書	25.9*702.3
F091-C003	F1980.8	元(1292頃)	趙孟頫	楷書太上老君常清靜經	1 卷	卷子装	絹本墨書	29.4*57.8
F091-C004	F1980.9	明(16c初期)	文徵明	行書七言律詩	1 幅	掛幅装	紙本墨書	350.0*101.0
F091-C005	F1980.11	明(15c末)	吳寛	行書詩四首	1 卷	卷子装	紙本墨書	30.3*1099.8
F091-C006	F1980.12	明(1580年代)	徐渭	行草書七言律詩	1 幅	掛幅装	紙本墨書	131.0*31.5
F091-C007	F1980.21	明(1540年代頃)	陳淳	競争杜甫詩三首	1 卷	卷子装	紙本墨書	26.7*645.2
F091-C008-1	F1980.202a	宋(12c)		宋拓「淳化閣帖」第一	1 冊	折本装	紙本墨拓	H25.5
F091-C008-2	F1980.202c	宋(12c)		宋拓「淳化閣帖」第三	1 冊	折本装	紙本墨拓	H25.5
F091-C008-3	F1980.202d	宋(12c)		宋拓「淳化閣帖」第四	1 冊	折本装	紙本墨拓	H25.5
F091-C008-4	F1980.202e	宋(12c)		宋拓「淳化閣帖」第五	1 冊	折本装	紙本墨拓	H25.5
F091-C009	F1982.33	明(1521-25)	王守仁	尺牘三通	1 卷	卷子装	紙本墨書	25.6*226.6
F091-C010	F1988.6	明(1512-15頃)	文徵明	草書七言律詩四首	1 卷	卷子装	紙本墨書	38.2*541.2
F091-C011	F1990.14	明 (16c末~17c初)	邢侗	行書王建詩	1 幅	掛幅装	紙本墨書	193.0*62.3
F091-C012	F1992.54	明 (16c中期~末)	莫是龍	楷書梅花賦	1 幅	掛幅装	紙本墨書	118.6*27.3
S091-C001-1	S1989.9	元(1361)	馬琬(文璧)	元十二家竹簫詩銘	1 卷	卷子装	紙本墨書	27.8*462.9
S091-C001-2	S1989.9	元(1361)	譚立礼	元十二家竹簫詩銘	1 卷	卷子装	紙本墨書	
S091-C001-3	S1989.9	元(1361)	朱堂	元十二家竹簫詩銘	1 卷	卷子装	紙本墨書	
S091-C001-4	S1989.9	元(1361)	王澤	元十二家竹簫詩銘	1 卷	卷子装	紙本墨書	
S091-C001-5	S1989.9	元(1361)	鄭元祐	元十二家竹簫詩銘	1 卷	卷子装	紙本墨書	
S091-C001-6	S1989.9	元(1361)	崔亮	元十二家竹簫詩銘	1 卷	卷子装	紙本墨書	
S091-C001-7	S1989.9	元(1361)	陳文東	元十二家竹簫詩銘	1 卷	卷子装	紙本墨書	
S091-C001-8	S1989.9	元(1361)	邵思文	元十二家竹簫詩銘	1 卷	卷子装	紙本墨書	
S091-C001-9	S1989.9	元(1361)	劉元俊	元十二家竹簫詩銘	1 卷	卷子装	紙本墨書	
S091-C001-10	S1989.9	元(1361)	劉儼	元十二家竹簫詩銘	1 卷	卷子装	紙本墨書	
S091-C001-11	S1989.9	元(1361)	楊謙(竹西)	元十二家竹簫詩銘	1 卷	卷子装	紙本墨書	
S091-C001-12	S1989.9	元(1361)	芝瑄	元十二家竹簫詩銘	1 卷	卷子装	紙本墨書	

4. おわりに

本年度は五年計画の2年目の調査研究である。新型インフルエンザがメキシコから発症し、海外渡航を自粛することも考えたが、誰も感染することなく、アメリカ調査に2回出張することができた。無事に調査が終了できたことを先ずは多としたい。

昨年度からの継続で、基礎データ台帳の作成に着手し、「日本書跡」46点、「中国書跡」13点、総計59点(昨年度51点)の調査成果をあげることができた。厳密に言えば、「日本書跡」46点中20点は昨年度の成果である^②。その成果は、特にボストン美術館のエレンさん、フリーア・ギャラリーのジョセフ、ジョン、スーザン、元シアトル美術館の白原さんらの絶大なるご協力を頂戴したことによる。さらに元PEMの岡さんや立命館大学の倉橋さんの協力も得られた。また大学院生の高田・猪又・亀澤三君に、データ収集、整理と入稿から基礎データ

台帳の作成を担当してもらい作業がスムーズに進んだ。ここに記して、上記の方々に篤く感謝の意を表したい。初年度および本年度の成果を踏まえ、次年度以降さらに充実した調査研究になるように継続して努力していきたい。

(2010. 1. 31)

①梁川星巖の書跡「屏風6曲1双」、すなわちフリーア・ギャラリー所蔵番号「F1995.19.1/F1995.19.2」の調査は、2008年8月（F81-J006）と2009年3月（F082-J016-1/F082-J016-2）と2回実施した。同一書跡であるが、調査点数に加えたことをお断りする。河内利治・安達直哉「平成20年度科学研究費補助金「基盤研究B〈海外学術調査〉」研究報告—研究課題：アメリカ収蔵「書跡」の基礎データ収集と整理のための調査研究」（大東文化大学書道研究所編「大東書道研究2008」所収p. 135）を参照されたい。

②年度別総計で言えば、平成20年度71点、平成21年度39点になる。書跡別で言えば、「日本書跡」は、平成20年度52点、平成21年度26点で合計78点、「中国書跡」は平成20年度19点、平成21年度13点で合計32点を数える。表にすると下記の通りである。

アメリカ収蔵書跡調査年度	日本書跡	中国書跡	総計
平成20年度（2008）	52（32+20）	19	71（51+20）
平成21年度（2009）	26（46-20）	13	39（59-20）
書跡小計	78	32	110

（上記20点の+と-は、年度別に集計しなおした数値である。）

また美術館別に集計すると下記のようなになる。

アメリカ収蔵書跡調査美術館等	平成20年度 日本／中国	平成21年度 日本／中国	美術館別計 日本／中国
ハーネットコレクション	7／0	—	7／0
ボストン美術館	15／0	15／0	30／0
フリーア・ギャラリー	9／5 20／0	0／13	29／18
シアトル美術館	1／14	11／0	12／14
年度別書跡小計	52／19	26／13	78／32

（但し、注①に記したように梁川星巖の書跡をダブルカウントしている。）